



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月13日

上場会社名 株式会社SRAホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3817 URL https://www.sra-hd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鹿島 亨
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部財務・経理部長 (氏名) 小林 俊昭 TEL 03-5979-2666
 定時株主総会開催予定日 2021年6月24日 配当支払開始予定日 2021年6月9日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	39,386	△9.8	5,026	1.6	5,268	6.4	3,073	—
2020年3月期	43,642	7.0	4,948	21.3	4,951	10.8	△612	—

(注) 包括利益 2021年3月期 3,764百万円 (—%) 2020年3月期 51百万円 (△95.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	249.12	—	14.5	14.5	12.8
2020年3月期	△49.68	—	△3.0	13.8	11.3

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 △306百万円 2020年3月期 △118百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	37,945	22,489	59.2	1,819.78
2020年3月期	34,934	20,052	57.4	1,624.61

(参考) 自己資本 2021年3月期 22,449百万円 2020年3月期 20,042百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	4,999	△135	△1,372	8,854
2020年3月期	3,392	△619	△1,371	5,370

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	40.00	—	70.00	110.00	1,357	—	6.6
2021年3月期	—	40.00	—	80.00	120.00	1,480	48.2	7.0
2022年3月期(予想)	—	40.00	—	80.00	120.00		50.2	

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,600	2.3	2,100	△3.2	2,400	12.3	1,400	34.4	113.48
通期	42,000	6.6	5,060	0.7	4,760	△9.7	2,950	△4.0	239.13

2022年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期を合理的に見積もることができないため、確度の高い業績予想を算出することは難しく、現時点で想定できる影響額のみを踏まえたものとなっております。今後の新型コロナウイルス感染症の収束状況により、業績予想を変更する可能性があります。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2021年3月期	15,240,000株	2020年3月期	15,240,000株
2021年3月期	2,903,371株	2020年3月期	2,903,279株
2021年3月期	12,336,670株	2020年3月期	12,336,721株

(参考) 個別業績の概要

2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	540	△79.2	185	△91.8	165	△92.6	120	△94.5
2020年3月期	2,592	53.1	2,243	56.6	2,227	57.2	2,172	68.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	8.90	—
2020年3月期	160.63	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	8,385	7,317	86.8	538.05
2020年3月期	8,926	8,621	96.5	636.59

(参考) 自己資本 2021年3月期 7,278百万円 2020年3月期 8,611百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページをご覧ください。
- 決算補足説明資料は、当社ホームページに速やかに掲載します。また決算説明資料についても、6月3日に当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
(追加情報)	16
4. その他	17
生産、受注及び販売の状況	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループにおきましては、当連結会計年度(2020年4月1日から2021年3月31日まで)を中期経営計画(2020年3月期～2022年3月期)の成長戦略(ビジネスモデルの変革、グローバルビジネスの拡大、DXへの対応)を推進するための「展開の年」と位置付け、様々な施策に取り組みました。

開発、運用・構築、販売事業においては、2019年度の成果をさらに拡大し、各業界における実績を活かし、DX関連ビジネスを広く展開するとともに、アジア地域におけるDX関連急成長企業との協業の具体化を進めてまいりました。さらに、DXを支えるAI、クラウド、ビッグデータ/アナリティクス、セキュリティ、さらにその総合技術であるIoTなどの先進技術と、当社グループが長年培ってきた基礎技術を組み合わせ、複数の業界においてDX関連ビジネスを推進してまいりました。

しかしながら、国内及び海外における新型コロナウイルスの感染拡大によって業績に大きく影響を受けたお客さまも多く、当社グループのビジネスを取り巻く環境は当初の想定以上に厳しいものとなりました。

以上の結果、当連結会計年度の連結業績につきましては、次のとおりとなりました。

売上高につきましては、運用・構築事業は増加したものの、開発事業及び販売事業が減少した結果、39,386百万円(前連結会計年度比9.8%減)となりました。損益面におきましては、売上総利益はほぼ横ばいでしたが、販売管理費の効率化に努めた結果、営業利益は5,026百万円(前連結会計年度比1.6%増)となり、経常利益も5,268百万円(前連結会計年度比6.4%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益(以下「当期純利益」)は3,073百万円となりました。また、通期の業績予想に対しましては、売上高は予想値を下回りましたが、営業利益と経常利益は予想値を上回りました。また、当期純利益は予想値を若干下回る結果となりました。

なお、当期の配当につきましては、営業利益及び経常利益が通期業績予想を上回る結果となったことから、株主還元のためのさらなる充実を図ることを目的に、期末配当金を10円増配の1株当たり80円とし、年間配当金を120円といたします。

◎連結業績の推移

(単位:百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	
					直近業績公表値 2020年 5月27日公表	実績
売上高	39,142	39,410	40,793	43,642	42,700	39,386
営業利益	4,180	4,175	4,078	4,948	4,500	5,026
経常利益	4,211	4,762	4,469	4,951	4,500	5,268
親会社株主に 帰属する当期 純利益又は親会社 株主に帰属する当 期純損失(△)	2,646	2,060	2,023	△612	3,150	3,073

当連結会計年度の事業別の営業の状況は以下のとおりです。

●開発事業

開発事業は、製造業向けが減少した結果、当事業の売上高は20,704百万円(前連結会計年度比6.3%減)となりました。

●運用・構築事業

運用・構築事業は、企業向けが増加し、当事業の売上高は5,500百万円(前連結会計年度比3.9%増)となりました。

●販売事業

販売事業は、株式会社A I Tの機器販売が大きく減少し、株式会社S R A及び海外子会社の機器販売も減少した結果、当事業の売上高は13,181百万円(前連結会計年度比18.9%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は37,945百万円(前連結会計年度末比8.6%増)、負債合計は15,456百万円(同3.9%増)、純資産合計は22,489百万円(同12.2%増)となりました。

前連結会計年度末と比べ増減した主な内容は、次のとおりです。

(資産)

現金及び預金が8,940百万円と3,450百万円増加、投資有価証券が9,029百万円と499百万円増加した一方で、繰延税金資産が1,578百万円と592百万円減少、未収入金が2,599百万円と521百万円減少しました。

(負債)

未払法人税等が1,235百万円と686百万円増加した一方で、買掛金が3,622百万円と364百万円減少しました。

(純資産)

利益剰余金が17,780百万円と1,716百万円増加、投資有価証券の時価変動等によりその他有価証券評価差額金が1,513百万円と798百万円増加しました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ3,483百万円増加し、8,854百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、4,999百万円(前連結会計年度末は3,392百万円の獲得)となりました。

これは、主に税金等調整前当期純利益が4,956百万円、投資有価証券評価損益404百万円、持分法による投資損失306百万円及び、法人税等の支払額549百万円、仕入債務の減少364百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、135百万円(同619百万円の使用)となりました。

これは、投資有価証券の売却による収入447百万円及び、投資有価証券の取得による支出349百万円、貸付による支出143百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,372百万円(同1,371百万円の使用)となりました。

これは、主に配当金の支払1,357百万円によるものであります。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率(%)	57.9	57.4	59.2
時価ベースの自己資本比率(%)	82.5	75.5	88.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	0.1	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	206.0	1,018.0	1,982.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

当社グループは、中期経営計画(2020年3月期～2022年3月期)に基づき、企業価値の向上並びに株主還元の更なる充実を目指し、既存事業の基盤強化を図ると共に、新規事業も強力に推進し、①持続的な成長 ②収益性の向上 ③株主還元の更なる充実に向け、取り組んでおります。

◎参考：中期経営計画の策定に関するお知らせ(2019年5月9日発表)

https://www.sra-hd.co.jp/ir/manage_policy.html

2020年3月以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外の景気は急速に悪化しており、製造業をはじめ各業界は極めて厳しい状況にあります。企業収益も新型コロナウイルス感染症の影響により急速に減少しており、先行きについては、世界的な感染拡大の影響により、極めて厳しい状況が続くと見込まれております。また、新型コロナウイルス感染症が国内外の経済をさらに下振れさせることも懸念されております。

当社グループにおきましても製造業向けのビジネスの割合が高いこともあり、今後、新型コロナウイルス感染症の影響を少なからず受けるものと認識しております。

そのような状況を踏まえ、2022年3月期の通期連結業績見通しにつきましては、売上高42,000百万円、営業利益5,060百万円、経常利益4,760百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,950百万円を予想しております。次期の配当につきましては、1株当たり配当金を120円(普通配当120円：中間配当40円、期末配当80円)と計画しており、この配当を実施した場合の配当性向は50.2%の見込みです。これからも株主還元の更なる充実を図るという方針のもとに、従来通り配当性向50%を目途に、安定的な高配当を目指してまいります。

なお、2022年3月期の連結業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期を合理的に見積もることができないため、確度の高い業績予想を算出することは難しく、現時点で想定できる影響額のみを踏まえたものとなっております。今後の新型コロナウイルス感染症の収束状況により、業績予想を変更する可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

将来における国際会計基準の適用に備え、社内マニュアルや指針等の整備及びその適用時期について検討を進めております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,489	8,940
受取手形及び売掛金	7,406	7,575
有価証券	64	101
商品及び製品	1,176	1,050
仕掛品	980	966
短期貸付金	3,160	3,288
未収入金	3,121	2,599
その他	649	580
貸倒引当金	△11	△7
流動資産合計	22,036	25,094
固定資産		
有形固定資産		
建物	405	409
減価償却累計額	△280	△295
建物(純額)	124	113
機械装置及び運搬具	579	501
減価償却累計額	△533	△466
機械装置及び運搬具(純額)	45	35
その他	163	156
減価償却累計額	△116	△114
その他(純額)	46	41
有形固定資産合計	217	189
無形固定資産		
その他	372	381
無形固定資産合計	372	381
投資その他の資産		
投資有価証券	8,530	9,029
長期貸付金	852	912
繰延税金資産	2,171	1,578
差入保証金	410	400
退職給付に係る資産	50	49
その他	320	334
貸倒引当金	△8	△7
投資損失引当金	△18	△17
投資その他の資産合計	12,308	12,279
固定資産合計	12,898	12,850
資産合計	34,934	37,945

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,987	3,622
短期借入金	198	201
未払費用	895	792
未払法人税等	548	1,235
未払消費税等	629	735
前受金	3,289	3,361
賞与引当金	546	583
役員賞与引当金	23	60
工事損失引当金	330	333
その他	148	176
流動負債合計	10,599	11,104
固定負債		
繰延税金負債	40	117
退職給付に係る負債	4,018	3,983
役員退職慰労引当金	218	246
その他	5	3
固定負債合計	4,282	4,351
負債合計	14,881	15,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,702	4,702
利益剰余金	16,063	17,780
自己株式	△2,402	△2,402
株主資本合計	19,363	21,080
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	715	1,513
為替換算調整勘定	218	46
退職給付に係る調整累計額	△256	△190
その他の包括利益累計額合計	678	1,369
新株予約権	10	39
純資産合計	20,052	22,489
負債純資産合計	34,934	37,945

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	43,642	39,386
売上原価	34,053	29,882
売上総利益	9,588	9,503
販売費及び一般管理費	4,639	4,477
営業利益	4,948	5,026
営業外収益		
受取利息	201	180
受取配当金	92	145
為替差益	—	181
受取補償金	—	30
その他	54	55
営業外収益合計	348	593
営業外費用		
支払利息	6	3
為替差損	176	—
証券代行事務手数料	15	16
持分法による投資損失	118	306
その他	28	24
営業外費用合計	344	351
経常利益	4,951	5,268
特別利益		
投資有価証券売却益	35	97
投資有価証券評価戻入益	7	—
新株予約権戻入益	25	0
その他	—	0
特別利益合計	68	98
特別損失		
減損損失	1,039	—
投資有価証券評価損	3,958	404
その他	35	5
特別損失合計	5,033	409
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△13	4,956
法人税、住民税及び事業税	970	1,599
法人税等調整額	△370	284
法人税等合計	599	1,883
当期純利益又は当期純損失(△)	△612	3,073
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△612	3,073

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△612	3,073
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	639	798
為替換算調整勘定	△1	△172
退職給付に係る調整額	25	65
その他の包括利益合計	664	691
包括利益	51	3,764
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	51	3,764
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000	4,704	18,033	△2,402	21,335
当期変動額					
剰余金の配当			△1,357		△1,357
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 株主に帰属する当期純 損失(△)			△612		△612
自己株式の処分		△1			△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	△1	△1,969	-	△1,971
当期末残高	1,000	4,702	16,063	△2,402	19,363

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	76	219	△282	14	25	21,375
当期変動額						
剰余金の配当				-		△1,357
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 株主に帰属する当期純 損失(△)				-		△612
自己株式の処分				-		△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	639	△1	25	664	△14	649
当期変動額合計	639	△1	25	664	△14	△1,322
当期末残高	715	218	△256	678	10	20,052

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000	4,702	16,063	△2,402	19,363
当期変動額					
剰余金の配当			△1,357		△1,357
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 株主に帰属する当期純 損失(△)			3,073		3,073
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	1,716	△0	1,716
当期末残高	1,000	4,702	17,780	△2,402	21,080

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	715	218	△256	678	10	20,052
当期変動額						
剰余金の配当				—		△1,357
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 株主に帰属する当期純 損失(△)				—		3,073
自己株式の取得				—		△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	798	△172	65	691	28	720
当期変動額合計	798	△172	65	691	28	2,436
当期末残高	1,513	46	△190	1,369	39	22,489

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△13	4,956
減価償却費	466	145
減損損失	1,039	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	91	△35
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	36	28
賞与引当金の増減額(△は減少)	△18	36
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△52	37
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	△4
投資損失引当金の増減額(△は減少)	0	0
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△9	2
受取利息及び受取配当金	△293	△326
支払利息	6	3
支払手数料	13	13
為替差損益(△は益)	176	△181
持分法による投資損益(△は益)	118	306
投資有価証券評価損益(△は益)	3,958	404
投資有価証券売却損益(△は益)	△35	△97
固定資産除却損	34	4
売上債権の増減額(△は増加)	△463	△174
たな卸資産の増減額(△は増加)	△90	86
仕入債務の増減額(△は減少)	377	△364
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△174	258
その他の負債の増減額(△は減少)	△533	11
未払消費税等の増減額(△は減少)	92	105
その他	79	26
小計	4,801	5,245
利息及び配当金の受取額	278	306
利息の支払額	△3	△2
法人税等の支払額	△1,683	△549
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,392	4,999
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△64	△35
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△509	△103
投資有価証券の取得による支出	△1,064	△349
投資有価証券の売却による収入	86	447
貸付けによる支出	△188	△143
貸付金の回収による収入	157	41
定期預金の預入による支出	△312	△0
定期預金の払戻による収入	1,324	—
差入保証金の差入による支出	△27	△0
差入保証金の回収による収入	0	1
その他	△23	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△619	△135

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△1,357	△1,357
支払手数料の支払額	△11	△13
その他	△2	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,371	△1,372
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27	△7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,373	3,483
現金及び現金同等物の期首残高	3,997	5,370
現金及び現金同等物の期末残高	5,370	8,854

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「開発事業」、「運用・構築事業」及び「販売事業」の3事業を含む事業会社である子会社を統括管理しております。したがって、当社グループは、「開発事業」、「運用・構築事業」及び「販売事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの内容は、次のとおりであります。

- | | |
|---------|---|
| 開発事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○メインフレーム系大規模システムでの要求定義から開発・保守にいたる一貫したシステム開発 ○オープン系システムのシステム企画、開発、導入までのシステムインテグレーション ○ツールやプロダクトを活かしたビジネスツールとして提供するソリューションビジネス ○オープンソースソフトウェアによるシステム技術サポートを行うオープンソースビジネス |
| 運用・構築事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○コンピュータシステム及びネットワークシステムの運用管理 ○データ管理、設備管理を含むオペレーション全般 ○ネットワークシステム構築 ○アウトソーシングサービス |
| 販売事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○ライセンスを含めたパッケージソフト販売 ○インテグレーションサービスにおけるサーバーを中心とするシステム機器販売 ○IT導入に関するコンサルティング・サービス |

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

たな卸資産の評価については、簿価切下げ前の価額で評価しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
 前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,104	5,292	16,245	43,642	—	43,642
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	239	147	398	△398	—
計	22,116	5,531	16,392	44,040	△398	43,642
セグメント利益	3,840	1,425	1,020	6,287	△1,338	4,948
セグメント資産	9,738	1,601	5,317	16,657	18,277	34,934
その他の項目						
減価償却費	48	9	407	465	0	466
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	69	21	458	548	1	550

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,338百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
- (2) セグメント資産の調整額18,277百万円には、セグメント間消去△289百万円と、各報告セグメントに配分していない全社資産18,566百万円が含まれております。全社資産の内容は当社グループの余資運用資金(現金及び預金、有価証券)、短期貸付金、長期投資資金(投資有価証券及び長期貸付金)及び繰延税金資産であります。
2. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の償却額及び増加額がそれぞれ含まれております。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,704	5,500	13,181	39,386	—	39,386
セグメント間の内部売上高 又は振替高	54	235	93	383	△383	—
計	20,758	5,735	13,275	39,769	△383	39,386
セグメント利益	3,540	1,598	1,308	6,448	△1,421	5,026
セグメント資産	10,059	1,673	5,160	16,893	21,051	37,945
その他の項目						
減価償却費	52	11	80	144	0	145
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	28	3	104	136	—	136

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,421百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
- (2) セグメント資産の調整額21,051百万円には、セグメント間消去△322百万円と、各報告セグメントに配分していない全社資産21,374百万円が含まれております。全社資産の内容は当社グループの余資運用資金(現金及び預金、有価証券)、短期貸付金、長期投資資金(投資有価証券及び長期貸付金)及び繰延税金資産であります。
2. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の償却額及び増加額がそれぞれ含まれております。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,624.61円	1,819.78円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	△49.68円	249.12円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有していないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	△612	3,073
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	△612	3,073
期中平均株式数(千株)	12,336	12,336
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式 の概要	第17回 新株予約権 154,000株	第17回 新株予約権 152,136株 第18回 新株予約権 154,400株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループは、連結財務諸表作成時に入手可能な情報に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響は限定的であると考え、会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による今後の影響には不確定要素が多く、翌連結会計年度以降の当社グループの財政状態、経営成績等に影響を与える可能性があります。

(損害賠償請求の訴訟提起について)

当社子会社 株式会社SRA(以下、「SRA」という。)は、三幸エステート株式会社(以下、「三幸エステート」という。)に対して、2015年8月25日、損害賠償請求の訴訟を提起しております。これに対して、2015年10月6日、三幸エステートはSRAを相手取って東京地方裁判所に訴訟を提起しております。また、現在係争中であり、本訴訟の進捗に応じて必要な開示すべき事項が発生した場合は、速やかにお知らせいたします。

4. その他

生産、仕入、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当連結会計年度の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	前連結会計年度比 (%)
開発事業 (百万円)	20,472	△8.6
運用・構築事業 (百万円)	5,498	4.3
合計 (百万円)	25,971	△6.1

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

(2) 仕入実績

当連結会計年度の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	前連結会計年度比 (%)
販売事業 (百万円)	6,766	△28.7
合計 (百万円)	6,766	△28.7

- (注) 1. 金額は仕入価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

(3) 受注状況

当連結会計年度の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前連結会計年度比 (%)	受注残高 (百万円)	前連結会計年度比 (%)
開発事業	20,682	△6.8	4,081	△0.5
運用・構築事業	5,411	△1.8	2,343	△3.7
販売事業	12,325	△25.2	3,366	△20.3
合計	38,419	△13.0	9,791	△9.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

(4) 販売実績

当連結会計年度の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	前連結会計年度比 (%)
開発事業(百万円)	20,704	△6.3
運用・構築事業(百万円)	5,500	3.9
販売事業(百万円)	13,181	△18.9
合計(百万円)	39,386	△9.8

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

以 上